



CITY OF NAGASAKI

メッセージ

「2017 ピースアクション in いばらき」が開催されるにあたり、長崎市民を代表してメッセージをお送りします。

皆様におかれましては、毎年、様々な事業を通じて、組合員をはじめ、広く県民の皆様へ平和の大切さを訴えておられることに深く敬意を表します。

1945年8月9日午前11時2分、長崎の街は一発の原子爆弾により、一瞬にして壊滅的な被害を受けました。すさまじい爆風と熱線により7万4千人の尊い命が奪われ、7万5千人が負傷しました。あの日から72年目を迎える現在も多くの方々が放射線による後障害に苦しんでいます。被爆者は「原爆による悲惨な体験を世界中の誰にもさせてはならない」と決意し、「核兵器のない世界」の実現を訴え続けてきました。

今年7月7日、被爆者や志を同じくする人々の長年の願いが実を結び、国連本部で、核兵器を違法とする「核兵器禁止条約」が誕生しました。これは核兵器廃絶に向けた歴史に新たな1ページが記された瞬間でした。

しかし、核兵器を持つ国や核の傘の下にいる国々はこの条約に反対しており、即刻核兵器が廃絶されるわけではありません。

ようやく生まれたこの条約を活かし、「核兵器のない世界」の実現に向けて前進していくためには、私たち一人ひとりができることは何かを考え、一步を踏み出すことが重要です。

今回の「2017 ピースアクション in いばらき」にご参加の皆様は、まさに、自分のできる一步を踏み出された方々だと思います。これからも核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、長崎市民とともに歩まれることを期待いたします。

「2017 ピースアクション in いばらき」を通して、参加された皆様が長崎市民と平和への思いを共有し、核兵器廃絶の声を大きく発信していただくことを期待しています。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

平成29年7月22日

長崎市長 田上 富久